

# 水の危険

サーフィンをする人、釣りをする人、バーベキューをする人など、夏になると沢山の人が海や川に出かけます。

水辺(みずべ)での遊びはとても楽しいですが、遊びに夢中になるあまり、ときおり水難事故に巻き込まれてしまう人がいる事を、私達は忘れては行けません。

台風や大雨の後の水辺は、海も川も水の量がふえてとても危険です。流れる水は、その量が増えれば増えるほど流れが早くなり、モノを押し流す力も強くなるからです。その力は、足のしっかりつく浅い場所でも、大人の人を押し流し溺れさせてしまうほど。

水辺(みずべ)の事故は、主に大雨や台風が原因とされていますが、一番大きな原因は、実は私たちの『まあ、大丈夫だろう』という油断(ゆだん)なのです。

私たちは、危ない場所とわかっているにもかかわらず、人々が元気に遊んでいるところを見ると、『まあ、いいか』と考えてしまうことがあります。

命に関わる大事故というのは、このような『まあ、いいか』という私たちの一瞬のゆだんがひきがねとなって起こってしまうものなのです。

だから私たちは、

**【問題1】**

下線部の「海や川」と同じ意味で使われている言葉があります。その言葉はどれでしょう？

**【問題2】**

「だから私達は、」の後の空欄にまとめとなる文章を書き入れ、この作文を完成させなさい。

**【問題3】**

流れる水の量が増えると、なぜ流れが早くなるのでしょうか？考えて書きなさい。

**【問題4】**

なぜ、浅い場所でも大人の人が溺れてしまう事があるのでしょうか。その理由を考えて書きなさい。

**【問題5】**

この文章で一番大事だと思う部分に線を引きなさい。

**【問題6】**

問題5で線を引いた箇所について、なぜそこが大事であると思うのか理由を書きなさい。

**【問題7】**

この文章をできるだけ短く要約しなさい。